

特別史跡化に向けた取組みの進捗について

文化財課

1 史跡加曾利貝塚出土資料の再整理と総括報告書の刊行

別途説明 資料 2

2 史跡保存活用計画の策定

(1) 部会開催 第1回：7/8(水) 第2回：10/19(月)

(2) 計画策定のための基礎情報の収集・整理

①指定範囲の整理

過去の測量図、周辺航空写真データ等の集成および地番・地積の確認作業がほぼ完了。

現在、史跡範囲の確定に必要な基準点測量および計画書で使用する GIS 背景図の作成を業務委託により実施している。

②指定地及び周辺の現況の調査と整理

土地利用状況および法規制について、取りまとめがほぼ完了。

現在、過去の自然環境調査の取りまとめを業務委託により実施している。

(3) 史跡を構成する諸要素の分類と把握

構成要素の一覧表の作成を進めている。

3 特別史跡申請に向けた機運の醸成

(1) 加曾利貝塚博物館が開催する展示・講座

①企画展 博物館企画展示室

8/1(土)～9/27(日) 「縄文土器の技と美—戸村正己が追及する縄文の心—」

2/16(火)～3/20(日) 「加曾利貝塚収蔵品展」

②縄文時代研究講座の開催 (年 10 回) 会場：千葉市生涯学習センター 定員：50 人

開催日	講師	テーマ
6/27(土)	堀越正行 (加曾利貝塚博物館)	明治時代の貝塚研究
7/25(土)	戸村正己 (加曾利貝塚博物館)	注口土器の造形と使用想定
8/29(土)	長原 亘 (加曾利貝塚博物館)	加曾利貝塚収蔵品に見る市内の貝塚
9/26(土)	菅谷通保 (市埋蔵文化財調査センター)	加曾利貝塚出土の土器
10/31(土)	佐々木由香 (株式会社パレオ・ラボ)	縄文時代の植物利用
11/28(土)	泉 拓良 (京都大学大学院総合生存学館)	西日本の縄文時代
12/19(土)	近藤 敏 (市原市埋蔵文化財調査センター)	縄文時代の地形
1/23(土)	加納 実 (千葉県教育庁)	市原市武士遺跡
2/20(土)	佃 沙奈 (富津市教育委員会)	千葉市内出土の縄文晩期土偶
3/26(土)	西野雅人 (市埋蔵文化財調査センター)	加曾利貝塚の再整理の成果

(2) 学校教育との連携

①教員への情報提供

千葉県教育研究会 8月例会 8/19(水) 千葉県美術館・講堂 参加者約200名
「千葉市の貝塚の魅力を学校教育にどう活かすか」(西野)

②指導用補助教材作成への協力

市教育委員会(指導課)が「小学校社会科指導資料集」の加曽利貝塚に関する部分の拡充を今年度検討しており、6年生児童用ワークシートなどの作成に協力している。

(3) PR大使「かそりーぬ」を活用した特別史跡化推進PR

①4月～10月 31件(うち出張22件)のイベントに参加し、PRを行った。

②主な出張PRイベント

5/16(土)・17(日) レッドブルエアレース(来場者2日間12万人)
8/16(日) 千葉の親子三代夏祭り(来場者2日間39万人)
10/25(日) JFEちばまつり(来場者4万人)

3 特別史跡化に向けた史跡の環境整備

(1) 博物館の現状とあり方の基礎調査

史跡指定地内にある博物館と史跡が抱える課題を整理し、博物館のあり方を検討するための基本的な考え方をまとめるため、業務委託により基礎調査を実施している。

(2) 復原集落周辺の環境整備

今年度後半で復原住居1棟の再建を予定している。

また、復原集落を体験スペースとして活用していくための内部検討に着手している。

なお、史跡全体の環境整備は保存活用計画の策定後に着手する。